#### 《表紙の風景》

みなとみらい21中央地区

日本第二の都市横浜、このみなとみらい21地区は年間の来訪者数が約4,700万人を数え、"都市観光"という新しい領域を切り開いた。中央にそのルーツ旧三菱造船所のドック、シンボルの帆船日本丸。

UR都市機構はこのみなとみらい21中央地区の基盤整備を行なっています。

#### 編集後記

平成16年7月にUR都市機構が発足して2年、"人が輝く都市をめざして"という理念のもとに、都市再生を中核とする事業をすすめるとともに、独立行政法人として積極的な経営改善をすすめ、その成果は小野理事長と白石真澄先生との対談のなかでも紹介されました。また白石先生は公民連携を専門領域として研究されていて、まちづくりにおけるプロデュース機能を事業の柱としている当機構としては、大変充実した対談となりました。

当機構に対して今後とも変わらぬご理解とご 支援をお願い申し上げます。

数々の都市情報事業情報を盛り込んだ本号を ご覧いただき、ご高評いただければ幸いです。

季刊「ユーアールプレス・夏号」
Vol.8 (2006年7月)
発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー Tel.045-650-0881
Fax.045-650-0889
編集・制作 (株)日本経済社

(株)ロ本語が (株)リブアソシエーツ 印 刷 光写真印刷(株)

### 環境報告書を作成しました。

まちや住まいの環境づくりには、身近な自然とのふれあい、資源やエネルギーの節約、そして安全で快適な暮らしなど、様々な分野がありますが、UR都市機構は、昭和30年の日本住宅公団設立以来50年間にわたり、常にこのような環境づくりを考えながら、

様々な技術開発を行い、魅力的なまちや 住まいづくりを進めてきました。現在も 引き続き、水と緑を活かしたまちづくり、 地球温暖化・ヒートアイランド対策、廃 棄物リサイクルの促進などに積極的に 取り組んでいます。身近な生活空間と都 市空間の環境づくりを進めることは、我 が国の良好な環境の形成と、さらには地 球環境問題にも寄与するものと考えて います。



この度、このようなUR都市機構の環境に配慮した取り組みについての方針と講じた施策について、皆様と双方向のコミュニケーションを図るために「環境報告書」を作成しました。環境報告書は、多岐にわたるUR都市機構の業務と環境との関わりを皆様にできるだけ分かりやすくお伝えすることを意図して作成・公表しているものです。UR都市機構における環境配慮方針を掲げるとともに、方針の項目ごとに、これまでの50年間にわたる取り組みや、平成17年度の具体的な取り組みなどをご紹介しています。

この環境報告書について、皆様からのご意見をお寄せいただき、 今後の業務の改善につなげて行きたいと考えています。ぜひご一 読頂ければ幸いです。

環境報告書は、

http://www.ur-net.go.jp/e-report/

でご覧いただけます。

# 平成17年度独立行政法人都市再生機構の 役職員の報酬・給与等について

当機構の役員の報酬及び職員の給与の水準に関する情報について、国民の皆様に分かりやすくお知らせするため、平成15年9月に総務省においてとりまとめた「独立行政法人の役員の報酬等及び職員の給与の水準の公表方法等について(ガイドライン)」に基づき、当機構のホームページに掲載しております。詳しくはホームページをご覧ください。

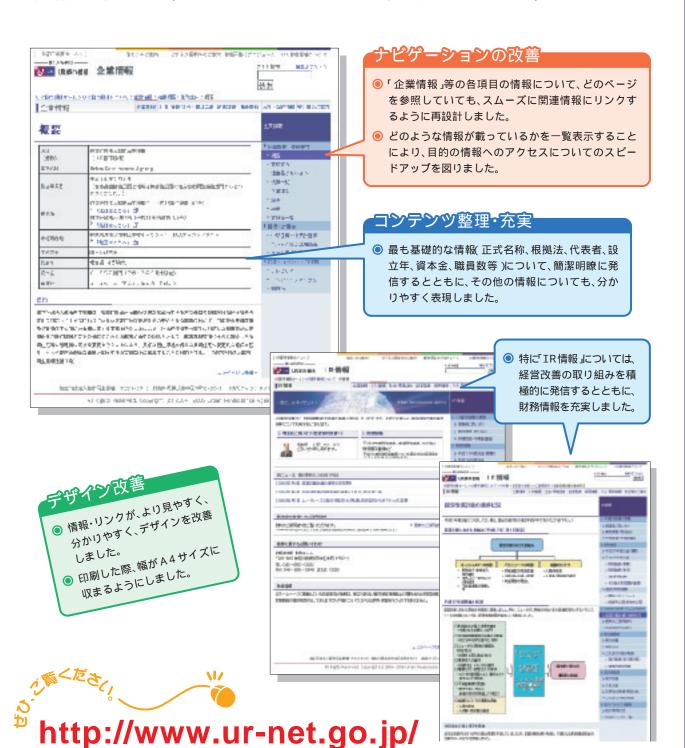
ホームページアドレス

http://www.ur-net.go.jp/jkoukai/hoshusuijun

## ホームページをリニューアルしました。

UR都市機構のホームページでは、機構の基礎的情報を掲載している「企業情報」のほか、「住まいのご案内」や「都市再生のプロデュース」をはじめとする各種業務・事業の情報を発信しています。

このうち、「企業情報」「IR情報」等のページについて、お客さまにとってより一層「見やすい」分かりやすい」「使いやすい」ページとするため、リニューアルをしましたので、その概要をお知らせします。



22